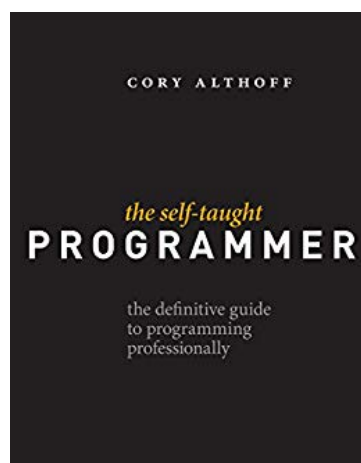


情報処理スキル科目の英語開講について

令和2年度は、試験的に情報処理スキル科目の「プログラミング II」の英語開講を行います（前期木曜 5-6 時限）。基本的に以下の特徴があります。（ただし、コロナウィルス対応で授業形態は例年と変わる見込みです。留意の上、今後の連絡にも注意して下さい。）

- 英語開講の「プログラミング II」は、講義内容を英語で説明します。受講生も英語で質問等を行い、レポートをまとめます。日本語は使えません。ですが、本科目ではプログラミングが重要ですから、英語でのミスは大きな問題ではありません。
- 日本語開講の「プログラミング II」（前期木曜 7-8 時限）も残ります。日本語と英語の2つの「プログラミング II」があり、内容は同じです。受講できるのは一方のみで、途中変更はできません。（いずれを受講しても「プログラミング II」の単位です。）
- 英語側のメリットは、プログラミングだけでなく、英語を学ぶ機会になることです。
- 2つの授業では、教科書として、同じ書籍の日本語訳と原書（英語）を使います。
日本語開講：コーリー・アルソフ著『独学プログラマー』（9784822292270）
英語開講：Cory Allhoff, *The Self-Taught Programmer*, (9780999685907)



- 英語開講の「プログラミング II」は、外国語の単位になりません。情報処理スキル科目の英語開講は、教養教育の外国語科目や、専門外国語、集中英語、専門英語短期派遣などと違い、通常の専門科目を単に英語を使って教えるものです。